

# 国体推進部 マネジメント方針

国体推進部では市長との政策協議のもと、次のとおり基本方針・組織目標・行動目標を定めました。この方針に基づき目標の達成に向け着実に取り組みます。

平成 30 年 4 月 1 日

国体推進部長 松 山 雄 二

## 【基本方針】

福井しあわせ元気国体および福井しあわせ元気大会の開催に向け、庁内推進本部を活用し、全庁挙げての取組を進めます。

両大会の機運醸成をさらに図りながら市民参加を促すとともに、全国初の取組となる「国体と障スポの融合」を推進し、健全者と障がい者の交流を促進します。

また、県および競技団体等と連携し、質の高い効率的な競技会運営に努め、市民と協働して来訪者を温かくお迎えし、すべての人々の記憶に残る大会を目指します。

## 【組織目標】

- .「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会について、積極的に広報啓発を行い、機運を醸成するとともに、市民参加の推進に取り組みます
- .「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会の成功と、人々の記憶に残る大会になるよう取り組みます

## 【行動目標】

。「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会について、積極的に広報啓発を行い、機運を醸成するとともに、市民参加の推進に取り組みます

### 1 国体・障スポの広報啓発、機運醸成、市民参加の推進

ホームページ、SNS、広報紙などを活用した情報発信、カウントダウンイベント、炬火イベントの開催など、国体・障スポの広報啓発を行い、機運醸成を図るとともに、花いっぱい運動などの開催準備や、ボランティア活動、競技観戦などへの障がい者も含めた市民参加を推進します。

また、国体・障スポ開催中は、大勢の方が本市を訪れることから、本市をPRする絶好の機会と捉え、歴史、文化、食など福井市の魅力を存分にアピールするとともに、よい思い出を持ち帰ってもらえるよう、つるつるいっぱいのおもてなしでお迎えし、すべての人々の記憶に残る大会を目指します。

競技体験・啓発事業の実施	: 30回
国体ボランティア登録者数	: 1,800人
花いっぱい運動参加団体数	: 100団体
福福応援団( )登録者数	: 1,500人

#### 福福応援団

国体・障スポの開催準備及び会期中における市民参加を推進するための本市独自の取組。選手・監督に贈る記念品に添える応援メッセージ記入に加え、花いっぱい運動、ボランティア、競技観戦などの項目から選択してグループで参加してもらおう。

・「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会の成功と、人々の記憶に残る大会になるよう  
取り組みます

## 2 円滑な競技会運営の推進と国体・障スポの実施

国体では 14 競技、全国障害者スポーツ大会では 4 競技を開催します。両大会を円滑かつ効率的に実施するため、昨年度開催した国体競技別プレ大会や 6 月に開催する障スポプレ大会を参考に、万全の体制を整え、すべての人の記憶に残る大会となるよう取り組みます。また、「国体と障スポの融合」では、県および競技団体等と連携し、会場設営など、一体的な運営に取り組みます。

国体の開催	: 14 競技 陸上競技、テニス、ボクシング、バスケットボール、ハンドボール、 自転車（トラック・レース）、ソフトテニス、柔道、ソフトボール、 ライフル射撃（CP 以外、CP）、剣道、アーチェリー、ボウリング、 高等学校野球（硬式、軟式）
障スポの開催	: 4 競技 陸上競技、車いすバスケットボール、アーチェリー、ボウリング
事業概要説明会( )の実施	: 平成 30 年 12 月

### 事業概要説明会

来年度以降に国体を開催する自治体を対象に、業務及び競技毎の実施概要を説明する会議